



昭和シェル石油(株)グループ

昭石化工株式会社

新春講演会・賀詞交換会の開催について

2016/2/29

2016年1月28日、明治記念館(東京都港区)において、弊社新春講演会・賀詞交換会を開催いたしました。新春講演会では、読売新聞特別編集委員 橋本五郎様に「橋本五郎のどうなる!? 日本」と題しましてご講演いただきました。歴代首相や永田町に関わること、郷里の小学校跡地に設立された橋本五郎文庫についてなど、視野を広く持ち、身近なことからできることから取り組んでいこうというお話に、参加者が真剣に耳を傾けていた姿が印象的でした。

また、賀詞交換会では、来賓の株式会社明光代表取締役社長 永谷英夫様、日東商事株式会社代表取締役社長 馬場克彦様よりご挨拶をいただきました。アトラクションでは、マジックショーが行われ、各テーブルで行われたテーブルマジックで、会に華を添えていただきました。

■高田代表取締役社長挨拶

遅れての新年のご挨拶となりますが、「皆さま新年おめでとうございます」。旧年中はたくさんのご支援・ご愛顧を賜りましたこと、高い席からではございますが厚く御礼申し上げます。また本日はご多忙のところ、全国よりご出席賜り重ねて御礼申し上げます。

今回の挨拶を考えるに当たり、私は1年前何をお話したか調べてみました。

- ① まず2014年の増税の影響も薄らぎ
- ② そしてアベノミクス効果もさらに表れ、
- ③ 東京でのオリンピック効果あり、
- ④ 輸出企業を中心として企業も好調、
- ⑤ 最後に建設投資も底堅い

など明るい話ばかりし、建設・土木業界は大丈夫と話ししていました。いざ蓋を開けてみると予想は見事に外れ、防水材および道路用アスファルトは近年に無く厳しい販売状況でした。

ただ景気の浮き沈はつきもので、インフラ関連の投資は必要不可欠、じき解消するものと自分に言い聞かせながら景気回復を確信しております。

先の経済見通しを読むことが難しい時期だからこそ

- ・関係者が集まり、
- ・盛り上がり、
- ・そしてお互いの関係を強めていただくことが大切

と私は考え、今回ご案内させていただきました。

ご出席いただいておりますお客様は古くから製品販売、原材料の供給、工事施工、製造関係と多岐にわたってお取引させていただいており、1社でも欠けたら弊社のサプライチェーンに支障をきたすと言っても過言ではないお客様ばかりです。

のちほどの交換会の場に於きまして是非親睦を図っていただければ幸いです。

話は、もう一度昨年話に戻りますが、多くの大手企業のコンプライアンス違反が発覚しました。事件の背景にはいろいろあったと思います。ただ間違いなく言えることは、これまでの経営感覚は必ずしも通用しなくなってきていること、消費者の目が厳しくなってきていることです。当社も当然ながら危機感を持ってやらないと生き残れないと痛感してやって参ります。

では、昭石化工はどのように活動するか、具体的なお話する時間はありませんので簡単にお話しさせていただきます。

- ① 「HSSE とコンプライアンスは全てに優先する」を大前提とします。
- ② コーポレートメッセージである「想う心からはじまる」実践し、皆様から支持をいただける組織作りをします。
- ③ 新商品の発売、継続的な販売促進など、皆様から選ばれそして支持され、とともに発展していく活動を目指します。

最後になりますが、本日ご出席の皆様、ご家族の皆様そしてご出席皆様の会社にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

■高田代表取締役社長



■読売新聞 橋本特別編集委員



■株式会社明光 永谷代表取締役社長



■日東商事株式会社 馬場代表取締役社長



本件に関する問い合わせ先
昭石化工株式会社 企画室
TEL:03-5531-7061

以上